



令和5年度 入学式

今年の桜の花は駆け足で過ぎ去りましたが、県内外から令和5年度の新入生が日野の地に集まってくれました。

19名の新入生は、緊張した面持ちで新しい制服に身を包み、入学式に臨みました。坪倉校長は式辞の中で、「努力は人を裏切らない。壁にぶつかっても乗り越えられる力になる。いろいろなことに果敢に挑戦してほしい」と思いを伝えました。生徒のみなさん、日野高校で多くの出会いを経験し、未来の自分を創造していきましょう。



対面式

入学式の翌日は対面式が行われました。

2・3年次生が新入生を拍手で体育館に迎え、はじめに校歌を新入生に紹介しました。坪倉校長と生徒会長（2年次生）の萩原敬介さんが歓迎の挨拶をした後、1年次生の花岡希星さんが新入生代表として挨拶しました。その後、先生方が一人ずつ紹介され、今年の日野高校の全生徒・全教職員が一同に対面しました。



熱中症に注意しましょう！

温暖化が進み、熱中症の危険が高まる期間が長くなっています。近年は5月から熱中症による救急搬送や死亡者が急増しています。



鳥取地方気象台の観測では、過去50年間で桜の開花が1週間早まり、カエデの紅葉は2週間遅くなっており、夏の期間が長くなっています。また、茶屋のアメダスの観測では、平均気温が過去44年間で1℃以上の上昇を続けています。

このため、熱中症の危険は年々高まっていると言えます。

熱中症の危険が高まったとき、鳥取県や環境省、気象庁から危険を知らせる情報が発表されます。次のような情報が発表されたときは特に注意してください。

●熱中症警報

前日の予報で予想最高気温が30℃以上の場合に、鳥取県が発令します。

●熱中症特別警報

前日の予報で予想最高気温が35℃以上の場合に、鳥取県が発令します。

●熱中症警戒週間

向こう1週間の予想最高気温が30℃以上の日が5日以上予想される場合に、鳥取県が発令して注意喚起をしています。

●熱中症警戒アラート
熱中症との相関が高い「暑さ指数」をもとに、環境省と気象庁が発令します。

熱中症の予防

熱中症の予防で最も重要なことは、「危険な暑さを避ける」ことです。水分補給や休憩もしっかりと行いましょう。また、熱中症の危険が高い時には、次のような積極的な熱中症予防行動をとりましょう。

- ① 不要不急の外出を控えましょう。
- ② 部屋の中でもエアコンやクーラー、扇風機を使って涼しくしましょう。
- ③ のどが渇く前にこまめに水分をとりましょう。マスクをしていると、のどの渇きに気づきにくいので注意しましょう。
- ④ 家族や身の回りの人同士で熱中症に気を付けるよう声を掛け合いましょう。特に高齢者や子ども、障がいがある人、体調が悪い人などは熱中症になりやすいので注意しましょう。
- ⑤ 屋外で人との距離が十分とれるときはマスクを外しましょう。

暑さを避けよう

